

# 第2回準備委員会を開催 「万引防止サミット」概要案を報告

来春の初開催に向けて準備を進めている「万引防止サミット2017 in TOKYO」(仮称)だが、9月9日に第2回準備委員会を東京・新宿区の高千穂交易で開催。講演内容や収支予算を含む開催概要案が報告され、11月を目途に具体化作業を進める予定。

準備委員会には、万引きに関する関係各方面で

構成する全国万引犯罪防止機構(以下、万防機構)の理事に加えて、警察庁や東京都万引き防止官民合同会議の担当者などがオブザーバーとして参加。議事に先立ち、万防機構の竹花豊理事長が参加者に挨拶。前回の準備委員会からの取り組みなどに触れた上で、「必ず大会は実施するが、内容や規模については流動的な

部分がある。その辺の問題を議論頂ければ」と語った。

また、米国担当者などを招聘するにあたって、「今度のサミットで議題となる組織犯罪としての万引き問題、警察との関係をどう築いていくのかについて、実例を日本側でも作っていく必要がある」と考えを述べた

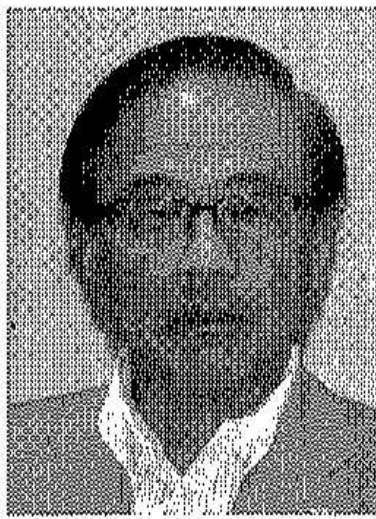
そして、万防機構の佐藤聖理事が開催趣意書を踏まえた形で、サミットの趣意、開催概要、収支予算案などを報告。日時は2017年3月9・10日の2日間で、東京ビッグサイトで開催される「日経セキュリティショー」のプログラムの一部として開催予定。内容(案)は米国から識者を招いて、日米の万引き対策や実態報告、集団窃盗、高齢者対策、地域連携、総合スパーの取り組み例などに加えて、総括討議として日本の対策に求められる点などを議論。

来年から改正個人情報保護法と万引き対策とい

った事例研究なども挙げられた。予算面では参加登録料、企業団体などによる寄付金に加えて、共催セミナー開催、ガイドブックや報告書の発行に伴う広告収入などを見込む。

サミットの概要などを報告後、出席者からは大会の名称変更、青少年の万引き問題に関するプログラムの追加、ハード面で万引き防止対策となる防犯設備機器メーカー担当者の来場を促すアプローチを求める意見などが出された。

次回の準備委員会は、11月中旬に開催予定。



竹花理事長



佐藤理事